

2021.1

さやかグループ広報誌

No. 88 SAYAKA



逆境は良薬、順境は凶器

社会福祉法人 清心会
理事長 村山 勇治

新年おめでとうございます。

今年は穏やかな新年を迎えるという状況になく、厳しく困難な日々が続くと予想されます。

昨年の広報紙新年号では、紙面のどこを探してもコロナのこの字もありませんでした。

その頃、中国の武漢ではすでに感染拡大が進行していたのかと思います。

ひと月後の2月初め、横浜港に入港したダイヤモンドプリンセス号の集団感染から、瞬く間に全国に拡大、1年後の今日、日本全体で22万人、全世界では8千万人の感染者を出しています。この間、国による緊急事態宣言によって、オリパラの延期を始め、あらゆる分野の活動が制限され、経済活動に深刻な影響を及ぼし、今なおその真っ只中にあります。

あまねく人類の全てが直面する歴史的な危機に生活様式の大転換を強いられ、1年を待たずしてすでに定着しつつあります。

こうした状況の中でこそイノベーションが生まれ、産業構造も大きな変化を遂げることが期待されます。

中国の儒教の思想を基にした処世哲学書「菜根譚」に、「逆境は良薬、順境は凶器」と説いており、逆境は節操も行動も知らぬ間に磨かれてゆく、順境は目の前が全て凶器とあり、体中骨抜きにされてもまだ気づかない。

まさにいま、私たちが置かれている状況は逆境にあり、「逆境は良薬」との強い思いをもって行動することが肝要かと思えます。

まだまだ続くコロナ禍、みんなでの難局を乗り越えて行きましょう。

法人共同墓地の設置にあたって

社会福祉法人 清心会
総合施設長 岡部 浩之

明けましておめでとうございます。

年末になり新型コロナウイルスの第3波が猛威を振るい、過去最大の感染者が確認されています。

まだまだ先行きが見えなく不安ばかりが募りますが、一日も早い収束と普通の暮らしが出来ることをただただ願うばかりです。

さて、私からは法人としての念願であった共同墓地が昨年末に完成して、開眼法要を行なったことをご報告させていただきます。

清心会も開設して37年が経過し、その間には多くの利用者さんが鬼籍に入られました。ほとんどの方はご家族ご親族に引き取られ、それぞれの墓地で安らかに眠られているのですが、中にはさまざまな事情により、ご自身が眠られる墓地が無い方がいらっしゃいます。ここ数年はそのような方も増えてきて、改めて法人としての共同墓地の必要性を感じるようになりました。そして、昨夏に法人開設以来の利用者さんがご逝去されたことを契機に、実現に向けた動きが加速され、このたびの完成に至りました。

共同墓地は礼所15番少林禅寺ご住職のご厚意もあり、秩父市東町の立地の良い場所に設置することができました。お参りしやすい場所ですので、お気軽にお立ち寄りいただき、物故者の供養だけでなく、清心会の思い出に思いを馳せていただける場所になってもらえればと思います。また、墓石には「清心」と大きく刻まれ、その書体は村山理事長にしたためていただきました。

これまで、私たちは利用者お一人お一人の人生にどう寄り添うかを考えて行動してきました。そのことは今後も変わらずに実践続けていきます。それに加えてこれからは、清心会の仲間として人生を全うされた方の安らぎ方にも寄り添い考えてきたいと思えます。



さやかサポートセンター増築 ～地域生活支援拠点を目指して～

さやかサポートセンターは、このたび1階を増築し、令和2年11月より活用を始めています。これは、積年の目標であった地域生活支援拠点に向けての第1歩とするためです。

地域生活支援拠点とは、高齢化や重度化が進んでいる地域の方々に向けて、いわゆる「親亡き後」も見据え、(1)相談（地域移行、親元からの自立等）、(2)体験の機会・場（一人暮らし、グループホーム等）、(3)緊急時の受入れ・対応（ショートステイの利便性・対応力向上等）、(4)専門性（人材の確保・養成連携等）、(5)地域の体制づくり（サービス拠点、コーディネーターの配置等）の5つの機能を強化するための拠点のことを言います。



まず、すぐにできることとして、相談場所を1階に置くことでお体の不自由の方への配慮を行ったり、わくわくクラブのお預かり場所として活用するなど挙げられます。

今後、ますます多様化するニーズに対応していけるよう努力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域生活支援拠点エリア長 原真澄

『秩父地域障がい者基幹相談支援センター』が開所しました

『秩父地域障がい者基幹相談支援センター』は秩父地域1市4町から当法人が受託して、令和3年1月4日に秩父市ふれあいセンターの2階に開所しました。

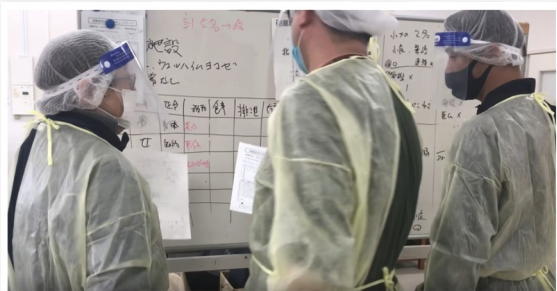
障がいのある方の秩父地域での生活を支援するために相談支援事業所があります。障がいや発達の遅れによる様々なつまずきで困っている方の相談に応じる委託相談支援事業所。困りごとが整理され、使いたい福祉サービスがはっきりしてきたら、そのサービスをどのように使っていくか考えてサービス等利用計画を作成する指定特定相談支援事業所。さまざまな相談支援の中で見てきた地域の住みづらさを検討し改善していくための自立支援協議会。これらによって、秩父地域で暮らす方々の生活をサポートしていますが、それらの相談支援事業所や自立支援協議会が上手に機能していくように、一緒に考えたり、人材育成したり地域に向けて啓発活動をしたり、自立支援協議会の事務を行います。

直接、皆さんと接する機会が少ないと思いますが、秩父地域で誰もがその人らしく機嫌よく暮らせるように努力していきたいと思えます。お近くに来た際には、ぜひお立ち寄りください。

秩父地域障がい者基幹相談支援センター所長 新井幸恵



令和2年度 横瀬町福祉避難所設置・運営訓練について



去る11月18日に、法人内でも初となる『福祉避難所設置・運営訓練』を行いました。最近豪雨等の災害が頻繁に起こり、迅速な避難所の開所が重要です。その際、障がい者や高齢者、妊婦等の一般の避難所での対応が難しく配慮が必要な方々を受け入れるのが福祉避難所です。

今回の訓練では、実践に対応できる力と情報を得る為、最高難度での状況設定を希望しました。コロナ禍での感染症対策も考慮した内容で行われ、検温や消毒をしつつ『障がいがある』『車椅子を使っている』等の設定の避難者役を受け入れていきました。

最後には付き添いの保護者が発熱状態という受け入れがあり、隔離部屋へ誘導、動線の徹底と緊迫の状況でした。訓練の目的は『事前情報なしで行い課題を探る』でしたが、避難者の情報整理、受付と本部間のリアルタイムな連携に難しさを感じました。もしもの時、助けが必要な人の手をしっかりとつかめる様に、我々も準備をしていこうと思えます。

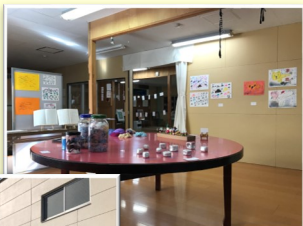
さやかワークセンター主任 千嶋健一

今回表紙を飾った

アーティスト 石川京子 画伯

「♪ぐるぐる毎日ぐるぐる♪」

小さな丸を描く京子さんです。その日の気分で色を替えてぐるぐるしています。少し若い時には丸も大きかったのですが、今は小さな丸をたくさん描き自分の世界を表現しているようです。1日10秒の時もあれば、覚醒して1時間描いていることも！『小さなことからコツコツと。』というお手本です。今後も素敵な作品を期待しています。 さやか 小菅博美



旧ブラザー寝装の名前が決定しました！

10月よりふらわあ事業所に隣接している旧ブラザー寝装の建物が活用できるようになりました。名前も平等・平の他に、「ふらっと」立ち寄れる気軽な空間と言う意味でFLAT（フラット）に決めました。まだ引越し等の準備段階ですが、主に就労部門の休憩場所や張子の作業場所、アトリエ等の活用をしていく予定です。また2階に関しては利用者・職員を含め、地域の方等、だれもが気軽に利用できるオープンスペースにしていきたいと思っています。今後も皆さんの意見等も取り入れていき、皆で作りに上げていくスペースにしていきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。 ふらわあ所長 田端義郎

ユニバーサル野球を開催しました！

11月28日、さやかの駐車場を利用し、ユニバーサル野球が行われました。

ユニバーサル野球とは、堀江車輦電装株式会社にお勤めの中村哲郎さんが、障がいを抱えた人にも野球を楽しんで頂きたいという熱い思いの元、一から作り上げた世界でたった一つだけの逸品です。

両翼の長さが約5メートル。大きな野球盤の様なもので、紐を引くだけでストッパーが外れ、バットを振る事が出来ます。とても簡単な作りなので、どなたでもプロ野球選手の気持ちを味わう事が出来ます。

当日は午前午後に分かれ、およそ80名の利用者と職員が手に汗握る熱戦を繰り広げました。一打一打皆さん固唾を飲んで見守り、ホームランが出るとまるで自分の事の様に盛り上がっていました。

障がいの有無に関わらず、皆さんが一つになって盛り上がったひと時でした。もしかしたら、ここからプロのユニバーサル野球選手が生まれるかもしれませんね。発達障がい支援事業所たかしの 石川裕一



ぽっぽオススメ新商品



ぽっぽの新人職員 大沢有麻です。私の第一弾商品が完成しました！未永くよろしくをお願いします。



チーズスティック

1本 ¥150 -

フランスパン生地にとろけるチーズ、パルメザンチーズをたっぷり使用しました！

3種類の味がございます。

(プレーン・明太子チーズ・ブラックペッパーチーズ)

販売店舗

★全店舗でPayPay使えます！

☆ぽっぽ横瀬店

〒368-0072 横瀬町横瀬4299-1 ☎0494-26-6613
(営業時間：10:30~16:00/定休日：土・日・祭日)

☆ぽっぽのお店 ばらーど


〒368-0044 秩父市本町7-4 ☎0494-25-3100
(営業時間：10:00~16:00/定休日：土・日・祭日)

☆ぽっぽ長瀬店

〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬59 ☎0494-69-2880
(営業時間：10:30~17:00/定休日：土・日・祭日)

＝編集後記＝

新年あけましておめでとうございます。新型コロナの影響により自粛ムードが続いていますが、今号の記事はそれを吹き飛ばすような利用者さんの熱い思いが満載です。職員も細心の注意を払いながら日々勤務にあたっていますので、今後も皆様の温かい声援をよろしく願いいたします。ホーム 大野賢一

社会福祉法人 清心会  さやかグループ <http://www.sayaka.or.jp>

〒368-0004 埼玉県秩父市山田1199-2 TEL0494-24-9951 FAX0494-26-7339 E-mail info-sayaka@sayaka.or.jp

